

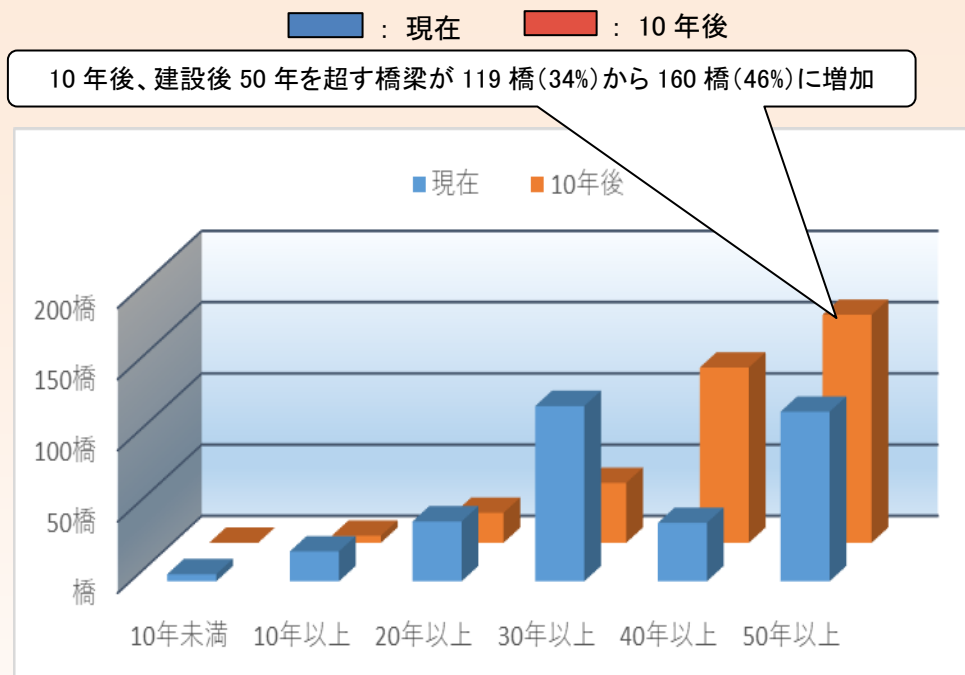
# 栗東市橋梁長寿命化修繕計画

## 背景・目的

栗東市は、令和5年3月現在において351橋の橋梁を管理しています。栗東市が管理する橋梁の約46%が、10年後には建設後50年以上の高齢化を迎えます。また、橋梁の置かれる環境も近年の交通量の増加や車両の大型化などにより、今後ますます厳しさを増すものと考えられます。

そこで、栗東市では、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、予防保全型の修繕に切り替え、維持管理費用の削減を図ることを実施してきました。

今回の改訂では、新技術等の活用など事業費のさらなる削減の目標を追加しました。



## 橋梁管理について

栗東市では、日常の道路施設パトロールにおける橋梁点検の他に、橋梁の専門業者による定期点検を行っています。

このように点検する事によって、いち早く橋梁の傷み具合を把握し、この結果をもとに傷みが大きくなる前に補修・補強を行うことで橋梁の寿命を延ばし、維持管理にかかる費用を縮小するように努めています。近年では、平成24年度以降34橋(内1橋は県で実施)の橋梁修繕工事を実施してきました。今後も点検の結果早期補修と判断された橋梁は、対策を実施していきます。

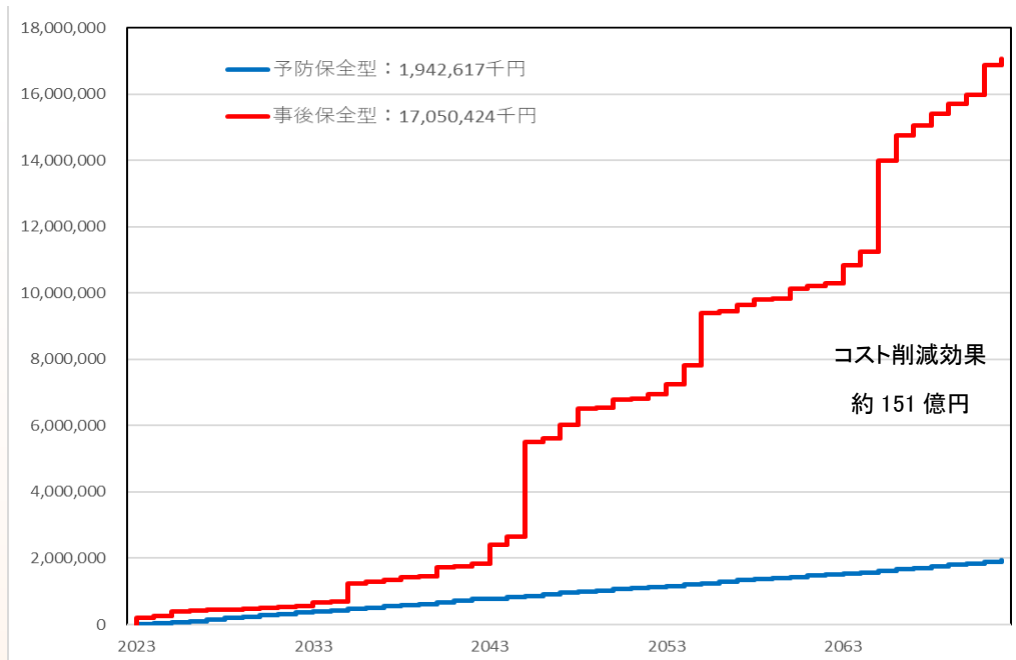


## 長寿命化修繕計画の効果

長寿命化修繕計画により栗東市が管理する351橋を計画的に維持補修すると、その効果は令和4年度の試算では、今後50年間で151億円程度の費用の節約が可能です。

また、橋梁の寿命も10年から50年以上延命できると言われており、上手に管理すれば100年以上に延ばすことも可能です。

※傷んでいる箇所を早期に発見し対応することで、補修の範囲や方法、材料費なども少なくなり、右のグラフのように維持・修繕のための費用を節約することができます。



## 今後の方針

### 橋梁修繕計画による効率的な工事の実施

平成25年度から、栗東市長寿命化修繕計画に基づき、補修設計・補修工事を実施する予定です。

### 持続的なマネジメントサイクルの確立

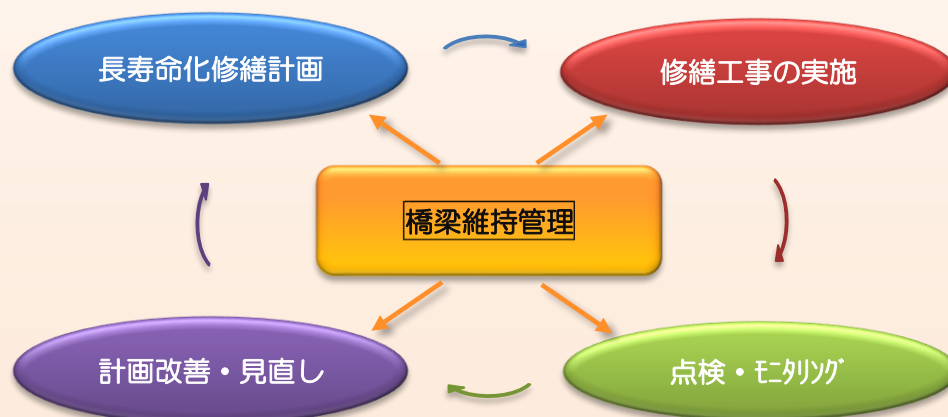
今後も、点検～計画～修繕の実績を蓄積し、将来予測の精度向上を図るとともに、予報保全によるコスト削減を継続的にを行います。

### 日常的な予防保全への取り組み

道路パトロール等により異常の早期発見に努めます。また、得られた損傷・補修データ等を記録管理します。

### 新技術等の活用

新技術を積極的に活用することにより、橋梁の長寿命化や維持管理に必要な事業費の削減に取り組んでいきます。



## 学識経験者への意見照会

「栗東市橋梁長寿命化修繕計画」の策定には、橋梁のマネジメントの専門家である 立命館大学 理工学部 都市システム工学科 野阪克義 教授にご指導・ご助言を頂いております。